

# 新たな職員提案の募集について

資料 6

若手職員を中心とした職員から、自由で独創的な発想による政策や業務改善に関する提案を募集することで、職員の能力や意識の向上、やりがいの創出、組織力の活性化を図ります。

## 1 政策提案トライ＆チャレンジ！ （企画調整課）

（対象：主事、主任、主査相当職）

よりよい県政を実現する事業・制度を発案し、知事に直接プレゼンテーションします。実現性や県政運営への貢献度を考慮し、提案は、担当部局で施策反映に向けた検討を行います。

募集：①自由提案 ②沖縄振興にかかる提案



## 2 業務改善提案スキーム＆チャレンジ！ （行政管理課）

（対象：主事、主任相当職）

業務や職場改善に関するテーマのもと、車座の意見交換会を行い、先輩職員が助言を行いながら意見を磨き上げ、提案内容の反映を目指します。

問い合わせ

- 1 企画部企画調整課
- 2 総務部行政管理課

# 1 「政策提案トライ&チャレンジ！」（呼称：政策トラチャレ）

## 目的等

- 本県では、本土復帰後、5次にわたる沖縄振興計画等により様々な成果を上げてきたが、時代の潮流や新たに生じた課題等を踏まえ、県職員自らが政策立案能力を磨き、沖縄にとってあるべき未来を描いていくことが求められている。
- また、我が国における総人口が減少していく中においても、活力ある持続可能な沖縄を実現するため、県職員が先頭に立って意識を大きく変革することが必要である。
- そのためには、各職員が自分の意見を発言し、行動できる活気ある職場づくりが必要であることから、若手職員を中心とした職員が、自分の担当業務の範囲に縛られることなく、自由に独創的な発想により政策を立案し、知事に直接提案できる「政策提案トライ&チャレンジ！」を新たに創設。 **“ワクワク感”あふれる沖縄県庁を目指す！**

### 制度名について

トライは新しいことを「試してみる」、チャレンジは高いレベルの課題や目標に「挑む」という意味がある。県職員にとって、担当業務に縛られず、県の課題解決策など県政運営のために自分に何ができるかを「主体的・積極的に考え」、「直接知事にプレゼンする」ことは大きな挑戦であるが、勇気をもって気軽に試してほしい！との気持ちを込めて名付けた。



# 1 政策提案トライ&チャレンジ! 概要

## ① 参加資格

- (1) 知事部局職員のうち、主事・主任・主査相当職の者。
- (2) 提案者は、個人または任意のグループで提案を行うことができる。
- (3) グループで提案を行う場合、1グループの人数は5名以内とする。

## ② 募集する2提案

- (1) 自由提案：自らテーマを設定し、提案（例：行政DX化、PPP/PFIなど）
- (2) 沖縄振興にかかる提案：今後の沖縄振興に必要な制度・施策の案を提案  
（例：沖縄イノベーション特区、離島活性化など）

※氏名を公開しない形（匿名）での提案可能

## ③ 参加エントリー & 提案作成

- ・まずは参加エントリー（おおよその提案数を把握する）
- ・提案書作成作業（事務局は関係課、財政課への相談（任意）のサポートを行う）
- ・プレゼン準備（事務局は(※)部内プレゼン（任意）実施サポートを行う）  
(※)部内プレゼン…予行練習として提案内容を実行する課が属する部の部長等にプレゼン

## ④ 知事プレゼン

知事に直接プレゼンすることができる。

- ・実現性や県政運営への貢献度を考慮し、担当部局において施策反映に向けた検討を行う。
- ・予算が必要なものについては、重点テーマに位置付けた上で、トラチャレ予算（仮称）として事業化する。
- ・提案者が異動を希望した場合は、関係課への配置を検討  
（※諸条件を踏まえ、人事課が適当と判断した場合）

## ⑤ 提案実現に向けた取り組み

3つのトラチャレ!

- 一、若手職員のトラチャレ
- 一、先輩職員のトラチャレ
- 一、全庁体制のトラチャレ

# 1 「政策提案トライ&チャレンジ！」（呼称：政策トラチャレ）

総務部企画調整課  
実施開始：令和6年6月

エントリー

- 人数等把握、提案サポートのため事前に参加のエントリー
- 意見交換会「ゆるチャレトーク」実施

令和6年7月26日まで

提案書提出

- 関係課、財政課への相談（任意）のサポート
- 部内プレゼン（任意）の実施サポート  
（※）部内プレゼン…提案内容を実行する課が属する部の部長等にプレゼン
- 政策・事業に関するアイデアを企画調整課へ提出

令和6年7月～8月

知事プレゼン

- 知事へのプレゼン

令和6年9月上旬

事業化等

- 実現性や県政運営への貢献度を考慮し、担当部局にて施策反映に向けた検討（事業化に限らず、広く実現化を検討）
- 重点テーマへの位置づけ、トラチャレ予算（仮称）の確保
- 提案者が異動を希望した場合は、関係課への配置を検討  
（※諸条件を踏まえ、人事課が適当と判断した場合）

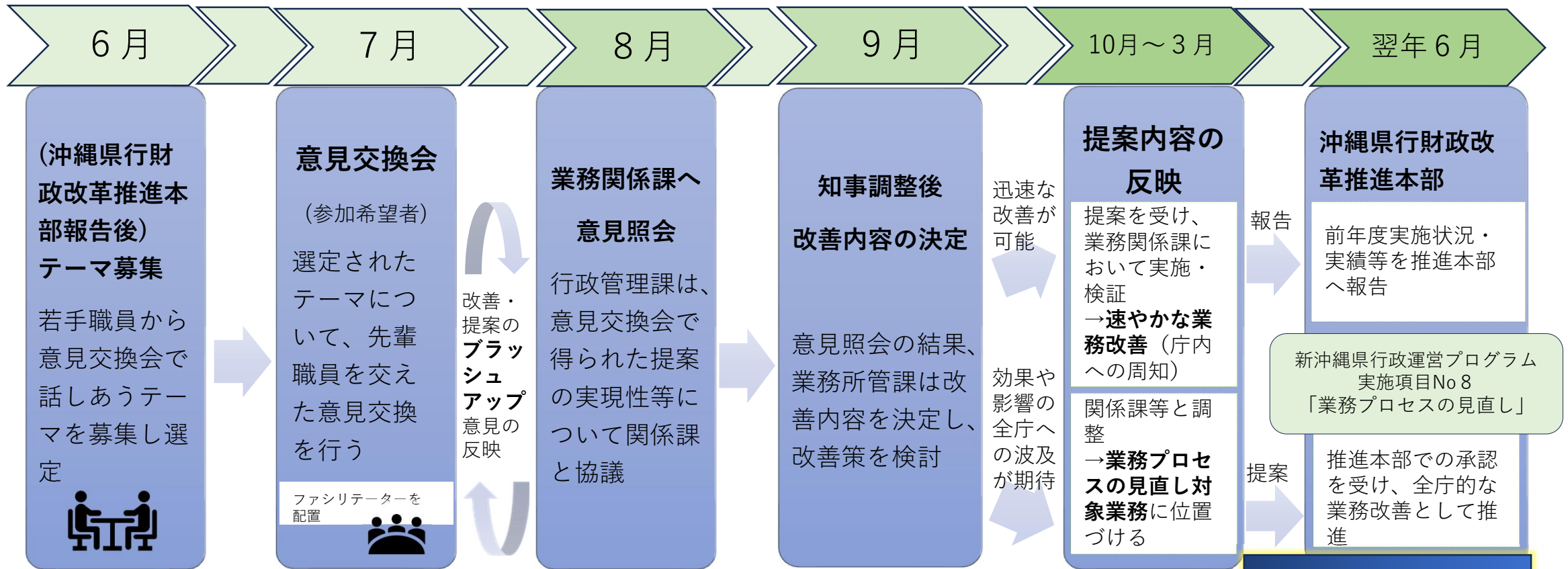
令和6年9月中旬以降

## 2 「業務改善提案スキーム&チャレンジ！」

総務部行政管理課  
実施開始：令和6年6月

目的：若手職員（※）の意見や考え方を聞き取り、グループワークで議論を深めることにより、若手職員が意欲的に業務改善に取り組み、働きがいを感じられるような職場環境の改善を図る。

※主事、主任級職員を想定している。



**行政改革へ！**

上記は7月に意見交換会を実施するスケジュールであり、年に複数回実施する場合もある。



## 2 業務改善提案スキーム & チャレンジ！意見交換会

(実施例)

テーマ：庶務事務の業務改善

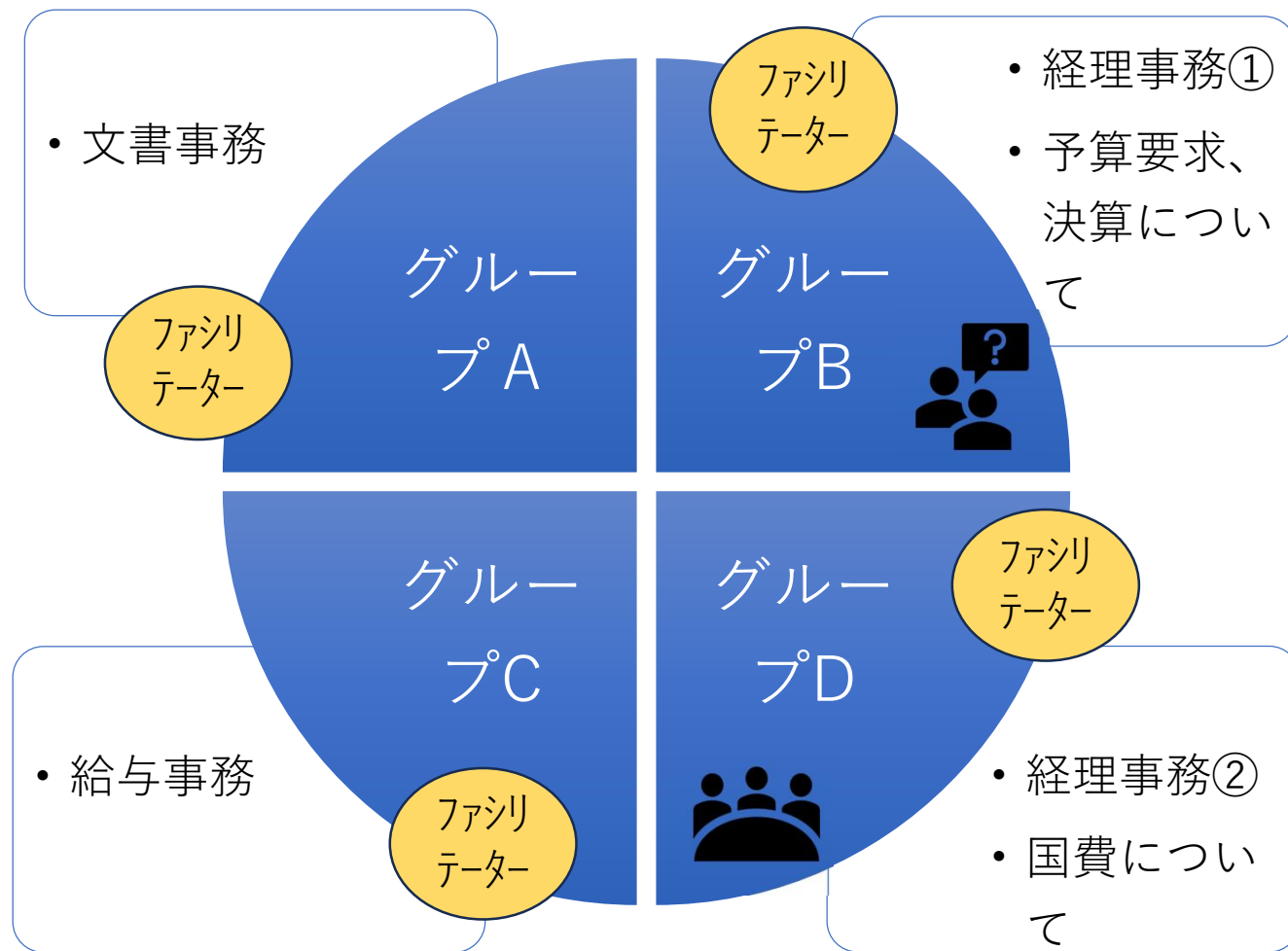
対象者：希望する若手職員

(主事、主任級職員を想定)

4、5名のグループごとにファシリテーターを置き、円滑な意見交換を行うよう支援するとともに、先輩職員としての助言を行う。

参加者を、意見交換を希望する業務内容や属性等で分け、より具体的な意見交換ができるよう工夫する。

意見を収集する対象を個人ではなくグループとする。



その他、参加した若手職員への効果として、日々の疑問が解消したり、新たな視点を得ることで業務にやりがいを見出すことが期待される。また、テーマ以外の意見交換内容についても関係課への意見照会の対象とすることができる。